

令和7年度
学校関係者評価報告書

令和7年11月

学校法人昭徳学園
九州動物学院

学校法人昭徳学園九州動物学院は、平成 16 年に設立され、学校法人化して 9 年となるところです。専修学校の学校評価につきましては、自己点検評価、学校関係者評価の実施・公表が謳われており、昨年度本学院でも自己点検評価を実施公表したところです。

令和 4 年度から、動物看護学科を 3 年制とし、愛玩動物看護師法による 3 年制の養成所として熊本県から指定を受け、卒業生を送り出し、全員が愛玩動物看護師国家資格に挑戦いたしました。

また、本年度は私立学校法改正に伴いより厳正な学院運営のため昭徳学園寄付行為も大幅な改正をいたしました。

また、実践的な職業教育取り組んできた本学院においても、更なる教育の質保証および向上を目的として、自己点検評価をもとに学校関係者による評価を実施することにいたしました。関係団体、行政、大学、企業関係などの分野の第一線で活躍されている先生方に委員をお願いし、学校関係評価を実施いたしました。

今回の評価を真摯に受け止め、職員一同今後とも業界と地域の期待に応えられる学校運営に努める所存です。

今後とも、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 11 月

学校法人昭徳学園 九州動物学院
学院長 徳田 昭彦

1 学校関係評価の実施方法

本学院が学校関係評価については、令和7年度に実施した「学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について、本学院に関係のある5名の評価委員に評価していただいた。

評価の結果については、報告書として取りまとめホームページ上で公開することとした。すでに公開している、「自己点検・評価報告書」と合わせてご覧ください。

2 学校関係評価委員一覧表

名前	所属	任期	種別
仁木 隆博	元東海大学教授	2024年10月1日 ～2026年9月30日	専門家等 評価委員
平野 孝昭	熊本県健康福祉部獣医師	2024年10月1日 ～2026年9月30日	専門家等 評価委員
前田しのぶ	イノセントランド代表 ペットアロマコーディネーター	2024年10月1日 ～2026年9月30日	企業・専門家等 評価委員
山中 彩紗子	ドッグトレーニングAcyaco代表	2024年10月1日 ～2026年9月30日	企業・専門家等 評価委員
井上 竜一	九州動物学院同窓会幹事	2024年10月1日 ～2026年9月30日	同窓会 評価委員

3 学校関係者評価委員会日程

- ・令和7年9月19日（金）14時00分

出席委員	職業	カテゴリー
仁木 隆博	元東海大学教授	学識経験者
平野 孝昭	熊本県健康福祉部獣医師	専門家
前田しのぶ	イノセントランド代表	専門家
山中 彩紗子	ドッグトレーニングAcyaco代表	企業
井上 竜一	九州動物学院	同窓会代表

学院参加者

九州動物学院	学院長	徳田 竜之介
同	副学院長	本田 公三
同	教頭	高木 弘和
同	事務長	林 典子

4 評価会議次第

次第

(1)開会

(2)学院長挨拶

- ・学院長から、3年制の動物看護学科の卒業生を送りだしたこと。私立学校法改正に伴い昭徳学園寄付行為を改正したこと等についての説明。

(3)委員長選出

- ・仁木委員を委員長に選出

(4)学校関係者評価概要の説明

- ・事務局から、学生募集も順調に推移しており、今年2月には3年生は愛玩動物看護師国家試験の受験

資格を得て全員が受験した経緯の説明

(6)自己点検・評価報告

- ・事務局から「学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について説明

(7)報告に関する意見交換

- ・各評価委員から、自己点検評価及び学院活動全般に対するご意見、ご指導をいただいた。

(8)その他

- ・今後の予定等

(9)学院長謝辞

(10)閉会

4 内 容

自己点検評価で行った各評価項目について、エビデンスとなる資料のもと、学院長から自己点検評価報告に基づき学院運営等について説明をした後、各委員から意見を聞いた。

1 教育理念・目標

仁木委員

- ・動物看護学科の卒業生3年生の国家試験結果は。

学院長

- ・今年2月3年生46名は全員国家資格を得て受験した。46名受験 41名合格（合格率 89.1%）来年度は100%合格を目指す

2 学校運営

平野委員

- ・学生保護者への情報共有はされているか

学院長

・愛玩動物看護師の国家資格化等、学生はもとより保護者へもその重要性の徹底をはかるため、様々な形で意識づけを行いたい。令和7年度は製薬会社プロパーの経験を持つ職員を補充した。引き続き、愛玩動物看護師養成所として更なる体制強化を図っている。

3 教育活動

井上委員

- ・動物看護学科が3年制となったが、関連企業との連携した実習体制はどうなっているか。

学院長

・先にも述べたが、3年次の病院実習の充実は関連企業との連携しながら進めているが、社会に出て即戦力とするためにも必要なことと考えている。実習先は竜之介動物病院実習が大きなウェイトを占めているが県内各地の様々な動物病院にインターンシップ等において実習を重ねているところ。

4 教育成果

山中委員

- ・海外研修はどのような状況か。

学院長

・海外研修は、昨年度に引き続き研修先はインドネシア・バリ州にある国立ウダヤナ大学獣医学部を11月に訪問しより交流を深めたい。また、今年度はバリ州の動物保護団体も訪問予定。令和2年度から熊本県内で合宿研修を行い、チーム力をつけるために順調に成果が出ている。昨年度から1年次に合宿研修、2年次に海外研修を行い、学生のチームビルディング力を順次高めるプログラムとしている。

5 学生支援

平野委員

- ・経済的に困難な学生への支援はどのようになっているか。

学院長

- ・本学院は本年度も国の高等教育学生支援対象校となっており、学生支援機構の奨学金制度と併せて行い、経済的な側面からも支援している。

6 教育環境

前田委員

- ・動物管理学科の学生への意欲を持つような支援はどのように行われているのか。

学院長

- ・動物管理学科は、トリマー、飼育員、愛護センター職員、ペットショップ店員等資格業種も広い。学生、保護者、教職員は常に情報を共有できるように、指導、情報提供をしていきたい。

7 学生募集と受入れ

井上委員

- ・学生募集活動はどうか。

学院長

- ・高校の先生方が認識を共有していただくため、高校の進路担当および担任を対象に「九州動物学院進学説明会」毎年開催し、学生生活、就職状況等を丁寧に説明し、様々な質問にもお答えしている。
- ・高校生、高校からの問い合わせも増えてきており、学校の先生への学院の認知度が高くなってきていると実感している。入学志願者も年々増えてきている。
- ・昨年度に引き続き九州全域と鹿児島県奄美地方、沖縄県にも高校訪問したいと考えている。

8 財務

前田委員

- ・昨年度の財務状況はどうか。

学院長

- ・令和6年度は63名入学している。2年54名、3年45名の併せて162名の学生数となっており、収入増とともに教育活動の充実に向け備品整備のため予算化している。

9 法令順守

仁木委員

- ・自己点検・学校関係者評価は充実しているか。

学院長

- ・教育活動に繋げるためには、特に地域との連携が不可欠である。地域の本荘小学校の評議員とし手の活動も順調に言っており、地域の小学生、保護者、学校教員と相互交流等も含め、自己点検評価と学校関係者評価を活用したい。

10 社会貢献・地域貢献

山中委員

- ・地域との連携をふかめるためのボランティア活動はどのようなことを行っているのか。

学院長

- ・令和3年度熊本市と「ペット動物同伴避難所」について、市と開設に関する協定を締結して以来、本学のみならず、熊本市が「同伴避難所」拡大するように働きかけていきたい。

- ・熊本県市の愛護センターに収容される多頭飼育崩壊の多くの猫を学院で積極的に引き取り、学生主導による飼育と譲渡会を開催し譲渡につなげるなど実践しながら啓発活動につなげている。

11 国際交流

仁木委員

- ・国際交流についてはどのようになっているか。

学院長

・海外研修では動物福祉の先進国に行っており、獣医科大学、看護大学、動物病院、愛護協会などを訪問し、学生はその交流を通して見聞を拓けているが、今年度も引き続きインドネシアバリ州にある、国立ウダヤナ大学への訪問を予定している。

・ご意見をいただいた後、各委員に学院施設を視察していただいた。最後に学院長からの謝辞があり閉会した。